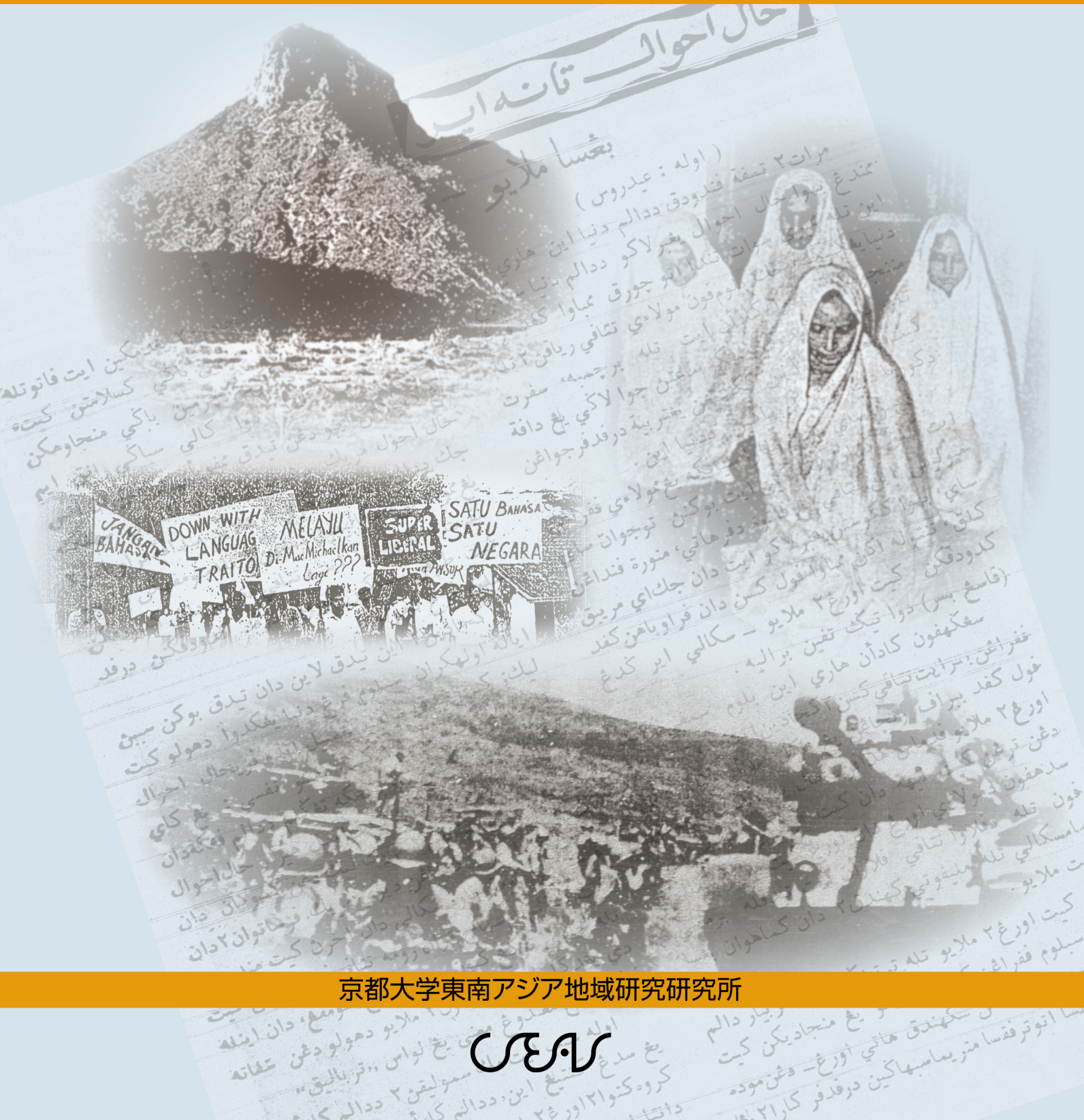


『カラム』の時代Ⅻ

マレー・イスラム世界における自然と社会

坪井 祐司・山本 博之 編著



CIRAS Discussion Paper No. 83

『カラム』の時代Ⅹ
マレー・イスラム世界における自然と社会

坪井 祐司・山本 博之 編著



京都大学東南アジア地域研究研究所

目次

序『カラム』の時代X

マレー・イスラム世界における自然と社会

坪井 祐司 3

マレー・ムスリム知識人からみた「災い」

坪井 祐司 8

『カラム』が論じた女性の権利と自由

コラム「女の園」より

光成 歩 15

ムビン・シェパード

元イギリス人植民地官吏の歴史学者

山本 博之 21

資料編「千一問」試訳 28

CIRAS Discussion Paper No.83

TSUBOI Yuji and YAMAMOTO Hiroyuki (eds.)

The Age of *Qalam X*

Nature and Society in the Malay World

©Center for Southeast Asian Studies, Kyoto University

46 Shimoadachi-cho, Yoshida Sakyo-ku, Kyoto-shi,

Kyoto, 606-8501, Japan

TEL: +81-75-753-7302

FAX: +81-75-753-9602

March, 2019

執筆者一覧

坪井 祐司(つばい ゆうじ)

名桜大学国際学群上級准教授。東京大学大学院人文社会系研究科博士課程修了。専門はマレーシア近代史。研究テーマは英領期のマラヤにおけるマレー民族の形成の過程。主な論文は「1930年代初頭の英領マラヤにおけるマレー人性をめぐる論争：ジャウイ新聞『マジュリス』の分析から」（『東南アジア 歴史と文化』45、2016年）。

光成 歩(みつなり あゆみ)

京都大学東南アジア地域研究研究所連携助教。専門はマレーシア地域研究／イスラーム司法制度。研究テーマはマレーシアにおけるイスラーム司法制度の展開と「改宗問題」。主な論文は「イスラーム法制と女性憲章：シンガポールにおけるムスリムの婚姻法改革」（『マレーシア研究』第3号、2014年）など。

山本 博之(やまもと ひろゆき)

京都大学東南アジア地域研究研究所准教授。専門はマレーシア地域研究／現代史。研究テーマは、イスラーム教圏東南アジアの民族と政治、アジアの災害対応、地域研究方法論。著書に『脱植民地化とナショナリズム——英領北ボルネオにおける民族形成』（東京大学出版会、2006年）、編著書に *Bangsa and Umma: Development of People-grouping Concepts in Islamized Southeast Asia* (Kyoto University Press, 2011) がある。

CIRAS Discussion Paper No.83

坪井祐司・山本博之 編著

『カラム』の時代X — マレー・イスラム世界における自然と社会

発行……2019年3月

発行者……京都大学東南アジア地域研究研究所

京都市左京区吉田下阿達町46 〒606-8501

電話: 075-753-7302 FAX: 075-753-9602

DTP・印刷……英明企画編集株式会社